

13日 火曜

創世記

23:1 サラの生涯、サラが生きた年数は百二十七年であった。

23:2 サラはカナンの地のキルヤテ・アルバ、すなわちヘブロンで死んだ。アブラハムは来て、サラのために悼み悲しみ、泣いた。

23:3 アブラハムは、その亡き人のそばから立ち上がり、ヒッタイト人たちに話した。

23:4 「私は、あなたがたのところに在住している寄留者ですが、あなたがたのところで私有の墓地を私に譲っていただきたい。そうすれば、死んだ者を私のところから移して、葬ることができます。」

23:5 ヒッタイト人はアブラハムに答えた。

23:6 「ご主人、私たちの言うことをお聞き入れください。あなたは、私たちの間にあって神のつかさです。私たちの最上の墓地に、亡くなった方を葬ってください。私たちの中にはだれ一人、亡くなった方を葬る墓地をあなたに差し出さない者はおりません。」

23:7 そこで、アブラハムは立って、その土地の人々、ヒッタイト人に礼をして、

23:8 彼らに告げた。「死んだ者を私のところから移して葬ることが、あなたがたの心にかなうのであれば、私の言うことをお聞き入れください、ツオハルの子エフロンに頼んでいただきたいのです。

23:9 彼の畠地の端にある、彼の所有のマクペラの洞穴を譲っていただけるようにです。十分な価の銀と引き換えに、あなたがたの間での私の所有の墓地として、譲っていただけるようしてください。」

23:10 エフロンはヒッタイト人たちの間に座っていた。ヒッタイト人のエフロンは、そ



Bible Reference
聖書の記述

の町の門に入るヒッタイト人たち全員が聞いているところで、アブラハムに答えた。

23:11 「いいえ、ご主人。どうか、私の言うことをお聞き入れください。あの畠地をあなたに差し上げます。そこにある洞穴も差し上げます。私の民の者たちの前で、それをあなたに差し上げます。亡くなつた方を葬ってください。」

23:12 アブラハムは、その土地の人々に礼をし、

23:13 その土地の人々の聞いているところで、エフロンに告げた。「もしもあなたが許してくださいなら、私の言うことをお聞き入れください。畠地の価の銀をお支払いします。どうか私から受け取ってください。そうすれば、死んだ者をそこに葬ることができます。」

23:14 エフロンはアブラハムに答えた。

23:15 「では、ご主人、私の言うことをお聞き入れください。銀四百シェケルの土地、それなら、私とあなたの間では、何ほどのこともないでしょう。どうぞ、亡くなつた方を葬ってください。」

23:16 ア布拉ハムはエフロンの申し出を聞き入れた。ア布拉ハムはエフロンに、彼がヒッタイト人たちの聞いているところでつけた価の銀を支払った。それは商人の間で通用する銀四百シェケルであった。

23:17 こうして、マムレに面するマクペラにあるエフロンの畠地、すなわち、その畠と、畠地にある洞穴と、畠地の周りの境界線内にあるすべての木は、

23:18 その町の門に入るすべてのヒッタイト人たちの目の前で、アブラハムの所有となつた。

23:19 その後アブラハムは、マムレに面するマクペラの畠地の洞穴に、妻サラを葬った。マムレはヘブロンにあり、カナンの地にある。

23:20 こうして、この畠地とその中にある洞穴は、ヒッタイト人たちの手から離れて、私有の墓地としてアブラハムの所有となった。

どんなに主の栄光が豊かな人生であっても必ず地上の死がやってきます。信仰者であっても愛する者の死は悲しいものです。

やがて永遠の御国で住む私たちクリスチャンですが、そのひな型として見ると、この箇所の意味が良くわかります。ヘテ人の土地は後に神様がアブラハムの子孫であるイスラエルに与えると約束なさった地で、それはやがてクリスチャンに与えられる永遠の天国のひな型です。イスラエルは先祖アブラハムの地に帰るのです。そのように私たちも、天国すな神の土地に帰るということです。

またアブラハムは無償提供されるという土地を、自らお金を払って買い取りました。これは完全に自分の所有とすることによって、その後異邦人との馴れ合いを避けるためです。神を信じない人とは生き方を区別する必要がありますが、それは誠実な姿勢によるべきです。

さらにアブラハムは銀四百シェケルという大金で買いましたが、神の国という救いはどんな犠牲を払ってでも手に入れるべき、すばらしい価値のあるものということです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？